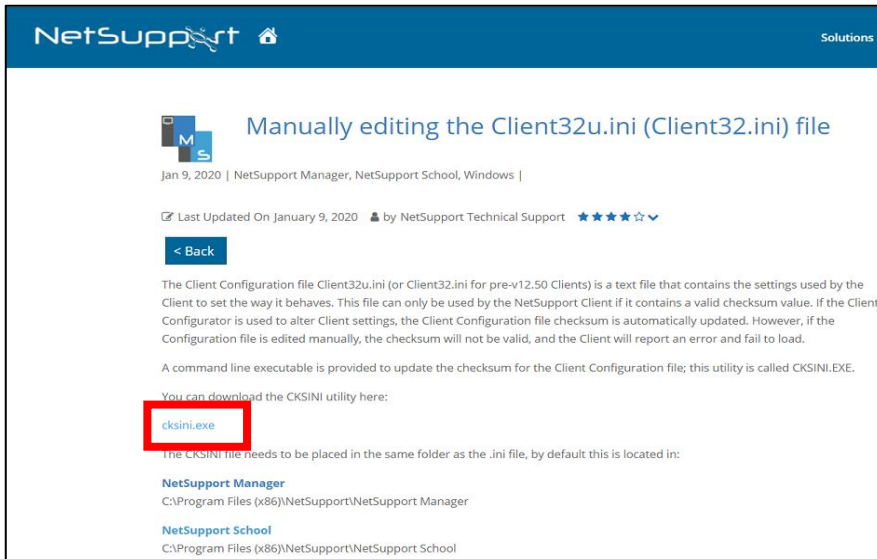


NetSupport Manager クライアント接続時 フォントのジャギー状態を回避する方法(フォントがギザギザにならない方法)

1. 下記のURLよりcksini.exeをダウンロードし、
NetSupport Managerインストールフォルダに保存する。

<https://kb.netsupportsoftware.com/knowledge-base/manually-editing-the-client32u-ini-client32-ini-file/%20>



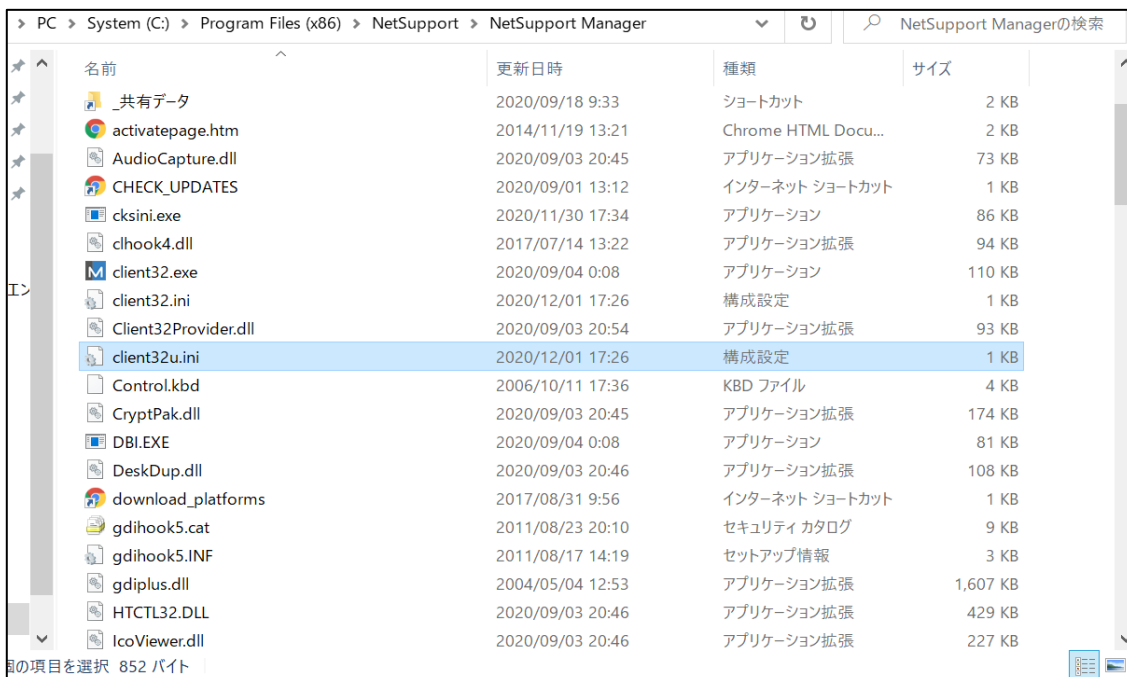
インストールフォルダは標準では以下の場所にあります。

32ビットC:¥ Program Files ¥ NetSupport ¥ NetSupport Manager

64ビットC:¥ Program Files(x86)¥ NetSupport ¥ NetSupport Manager

2. インストールフォルダにあるclient32u.iniファイルを開きます。

標準では、ダブルクリックした時にメモ帳で開きます。



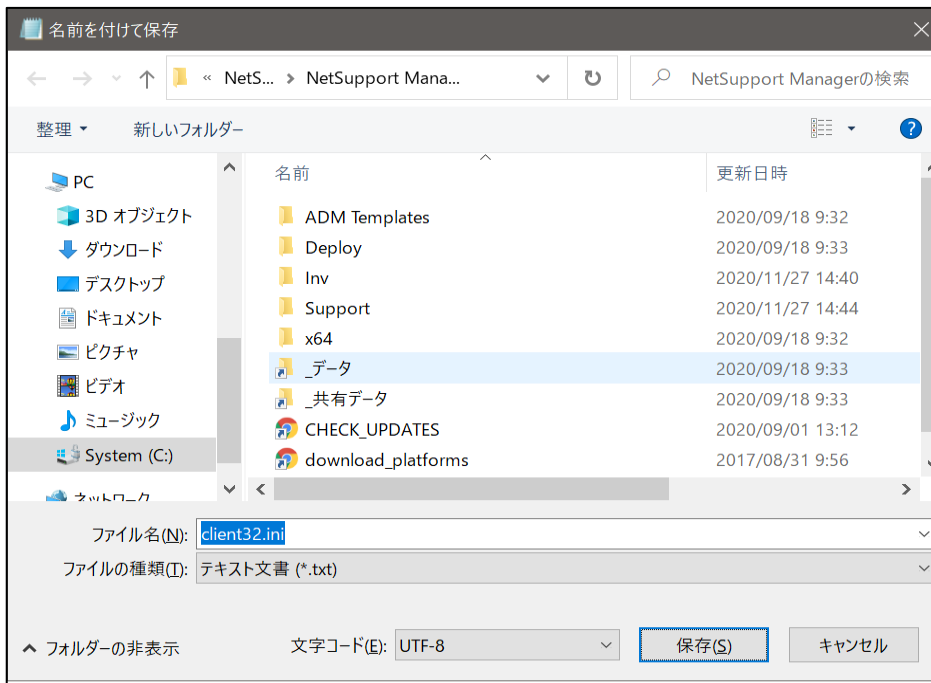
3. iniファイル末尾に下記3行を追加し、上書き保存します。

[View]

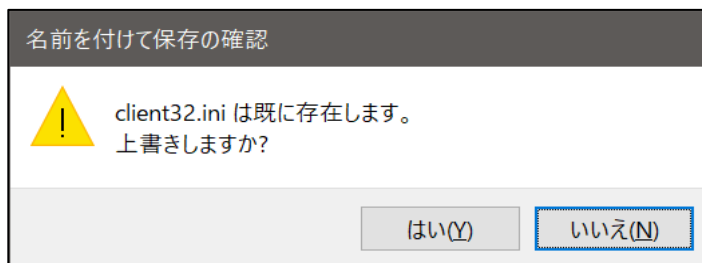
EnableLVShadow=1

EnableFontSmoothing=1

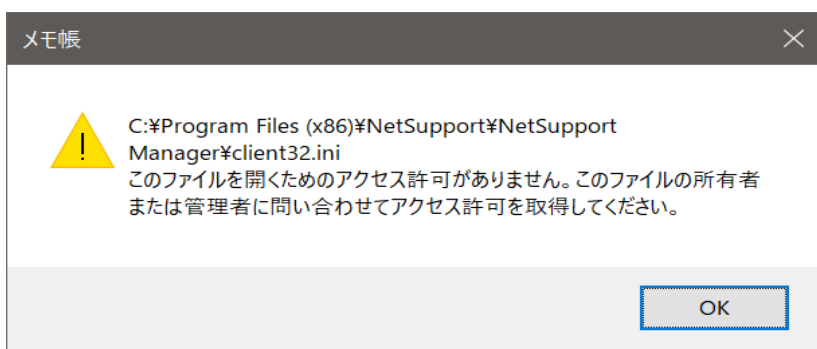
4. 名前を付けて保存画面が出るので、そのまま保存ボタンを押します。



5. 上書き保存を確認されるので「はい」をクリックします。



6. 保存が成功したら「10.」に進みます。
表示のようなエラーが出た場合は一度OKを押し、iniファイルを変更せずに閉じます。

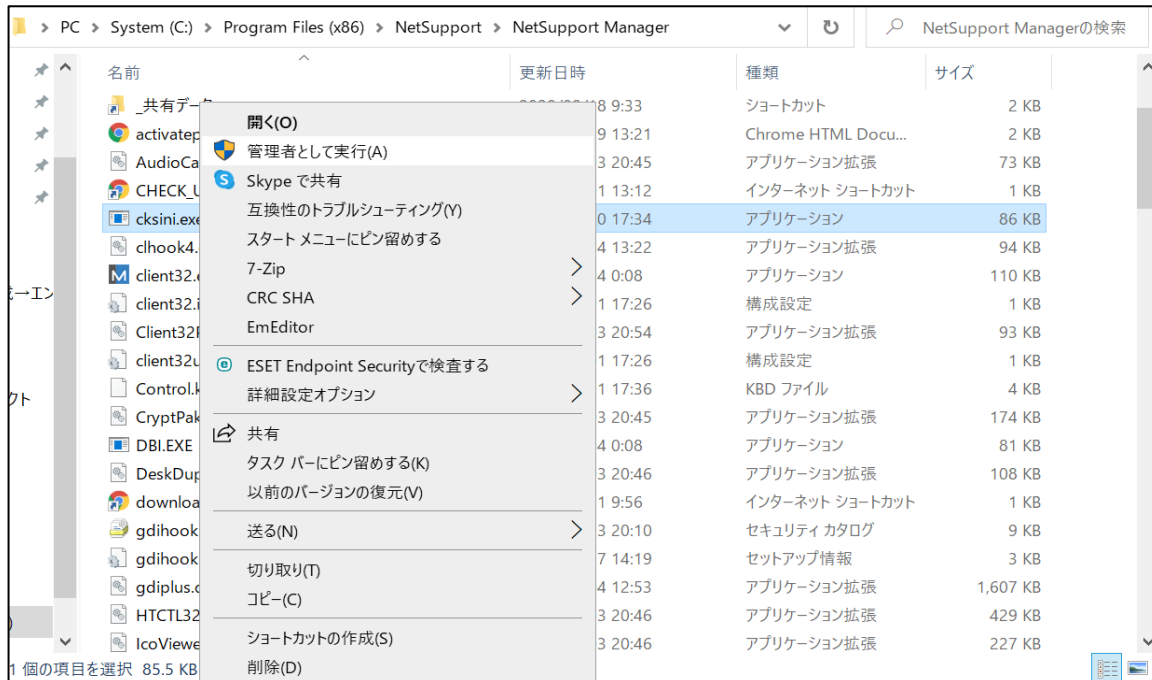


7. エラーが出た場合は、client32u.iniファイルをデスクトップ等任意の場所にコピーします。

8. コピーしたiniファイルを開き「3.」の項目追加後、上書き保存します。

9. 「8.」で保存したiniファイルをインストールフォルダにコピーペーストします。
ファイルの上書きを尋ねられるので、「はい」を選択します。
デスクトップ等にコピーしたclient32u.iniファイルは削除します。

10. インストールフォルダを開き、
cksini.exeを右クリック、「管理者として実行」をクリックします。



11. プログラムの実行確認を求められた場合は、「はい」を選択します。

12. 設定を完了するために、クライアントPCを再起動します。

13. 次回、コントロールから接続し、フォント不具合が解消されます。